

入院診療計画書② 乳房切除術を受けられる患者さまへ

ID	患者ID	新規作成日	新規作成日
氏名	氏名		

日付					～	～	
経過	1日前	術前	術後	1日後	2日後～4日後	5日後～6日後	7日後
目標	ボディイメージの変調を受け入れることができる 手術について理解できる		縫合不全・合併症の症状・所見がない 疼痛のコントロールができています		リハビリの開始ができる ドレーンに問題がない		日常生活の注意点について理解できる
注射		点滴 8時30分入室の方以外は 病棟で開始します。					
投薬	お薬はすべて持参し、看護 師にご報告ください。	お薬は中止となります。		お薬をいつから服用するかは、看護師に確認してください。			
検査							
放射線			Xray 胸部ポータブルX線撮影				
処置	手術部位を示す印をサインペンにつけます。 (右) (左) ✓ R センチネルリンパ節生検 予定の方は、16時30分に 放射線治療室で手術部位を 確認します。		帰宅後から吸入療法を適宜実施します。 溜まった血液を逃がすための管が創部に留置されます。 医師が創部を確認します。 心電図監視 酸素吸入 血栓予防の圧迫帯を装着 排尿量を測定				
食事	22時以降は絶食です。 水分は手術当日朝6時まで 摂れます。	朝6時以降は絶飲食	絶飲食	朝から食事開始	病院で出された食事をお召上がりください。それ以外の飲食をされる場合は看護師に確認 してください。看護師が食事を確認します。		
清潔	入浴またはシャワー浴を 行っていただきます。 マニキュア・化粧は落と してください。	洗面、歯磨きは朝のうち にお済ませください。		体調やご希望に応じてお体を拭いて着替えをします。看護 師がお手伝いします。	創部に入っている管が抜けて いれば、シャワー浴がで きます。	浴槽に入るのは初回外来 で医師の許可が出てから にしてください。	
排泄			尿道留置カテーテル挿入				
安静度	活動の制限はありません。		ベッド上安静 身体を動かすときは看護 師と共に行います。	痛み止めを使いながら看護 師と少しずつ身体を動か していきます。	活動の制限はありません。積極的に離床しましょう。		
リハビリ	リハビリ室で手術前の腕の 動きを調べます。			リハビリテーション（上肢の機能訓練）			
看護ケア	血圧、熱等を測定します。		適宜、血圧・体温などを 測定します（夜間も）。	起床時、午前、午後、就寝前に体温や血圧を測ります。			
	身長と体重を測定		手術後、腕の安静が必要になる事があります。 腕を動かす範囲は医師または看護師が説明します。				
指導 確認事項	●同意書を看護師にお渡し ください。 ●入院生活について説明し ます。 ●手術に必要な物品を確認 します。 ●麻酔科医と手術室看護師 の訪問があります。 ●手術説明の日は入院後 病棟でお知らせします。説 明の際はご家族の同席をお 願います。		●退院まで手術部位に異常がないか確認します。 ●痛みが強い時には痛み止めを使いますので遠慮せず伝えてください。 ●安全のためにベッド柵 を設置します。	●活動に制限はありませ んが、点滴や管がありま すので一人での活動は看護 師に確認してから行う ようにご協力ください。	●退院後の日常生活の注意点・リンパ浮腫指導についてお 話します。パンフレットをお渡します。 ●お身体の状態によって退院日が前後することがありま す。ご了承ください。 ●手術をした側の腕で重いものを持たないようにしましよ う。 ●お仕事のある方は医師と相談してから始めましょう。 ●看護師が次回外来スケジュールや診察券をお渡ししま す。お部屋でお待ちください。		